

新 COSO-ERM フレームワーク 全社的リスクマネジメント — 戦略およびパフォーマンスとの統合

COSO（トレッドウェイ委員会支援組織委員会）は2017年、経営者およびステークホルダーの信頼を高めるERM（全社的リスクマネジメント）をあらゆる組織において適用するためのフレームワークを一新しました。本セミナーは、同フレームワークの日本語訳書『全社的リスクマネジメント—戦略およびパフォーマンスとの統合』の発刊（3月末発刊予定）を記念し、COSOのトップを招聘し、日本内部統制研究学会および日本内部監査協会の共催により、わが国におけるリスクマネジメント、内部統制、内部監査の更なる普及・発展の一助となるよう開催いたします。

日 時 : 【A開催】2018年3月28日（水）13:30～16:30（開場 13:00）

【B開催】2018年3月29日（木）13:30～16:30（開場 13:00）

☆申込時にA開催・B開催のいずれかを選択してください。

会 場 : 明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー 1階

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

定 員 : 各開催共 350名（申込み先着順締切）

参加費 : 無料【日本内部統制研究学会会員または日本内部監査協会会員の方（正会員は1社1名）】

申込み : 日本内部監査協会のホームページよりお申し込みください（日本内部統制研究学会所属の先生方も同様にお願いします）。 ⇒裏面の【参加申込み方法】ご参照

主な内容と登壇予定者：【A開催】・【B開催】共通

1. 「2017 COSO ERM フレームワーク～更新、改訂そして改善～」 13:30～14:30（60分）

ロバート・B.ハース,Jr. COSO（トレッドウェイ委員会支援組織委員会）会長

☆英語による講演で同時通訳はありませんが、途中、適宜、抄訳を加えます。

2004年にCOSO ERM フレームワークが公表されて以来、金融危機やサイバーテロ、異常気象など、世界を震撼させるイベントが生起し、さらにビジネスモデルの変革を激しく迫るテクノロジの発展が新たなリスク環境を生み出しています。そこでCOSOは、組織が機会と脅威をよりいっそう、戦略、事業目標およびパフォーマンスとリンクさせ、マルチステークホルダーの期待に応えつつ、持続的成長を果たすには、何が大切であるか、企業の立場に立って、3年をかけてフレームワークの改訂を進めてきました。この改訂をリードした、COSO会長のハース氏が、改訂の背景、プロセス、改訂の要点、効果的なリスクマネジメントにおける構成要素と原則を解説します。

2. 「日本企業は改訂 COSO ERM から何を学ぶべきか？ 14:30～15:00（30分）

～リスクマネジメントの現状・課題と改訂 COSO ERM の活用～」

神林 比洋雄 日本内部統制研究学会会長

3. パネルディスカッション「新 COSO-ERM の実務への活用と課題」 15:05～16:30（85分）

（パネリスト）

神林 比洋雄 日本内部統制研究学会会長

谷口 靖美 プロティビティ LLC 日本代表

橋本 尚 青山学院大学会計プロフェッショナル研究科教授

吉野 太郎 東京ガス（株）、日本内部監査協会 CIA フォーラム世話人・ERM 研究会座長
(モダレータ)

八田 進二 日本内部監査協会名誉会員、日本内部統制研究学会理事（前会長）

※ 講演内容・登壇者について、やむなく変更が生じる場合にはあしからずご容赦ください。

※ 進行の都合上、上記タイムスケジュールが変更・延長される場合があります。

※ 会場内での録画・録音・配信等は固くお断りします。

【会場地図】

明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー1階
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

最寄駅：

- JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 下車徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩約5分



出典：明治大学ホームページ http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

日本語訳書『全社的リスクマネジメント戦略およびパフォーマンスとの統合』は、本年3月末に発刊を予定しています。書籍ご購入の詳細は、本セミナー開催当日にご案内する予定です。